

仕様書番号 : 第 54 号
作成年月日 : 令和 4 年 8 月 3 1 日

200号建物他排水管等更新工事

業務隊長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	管財係	エネルギー管理係	施設管理係	ホ・ワ係長	水道主任技術者	作成者
工事件名	200号建物他排水管等更新工事						図面番号	1 / 1	
種 別	表 紙						縮 尺	—	
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊									

仕 様 書

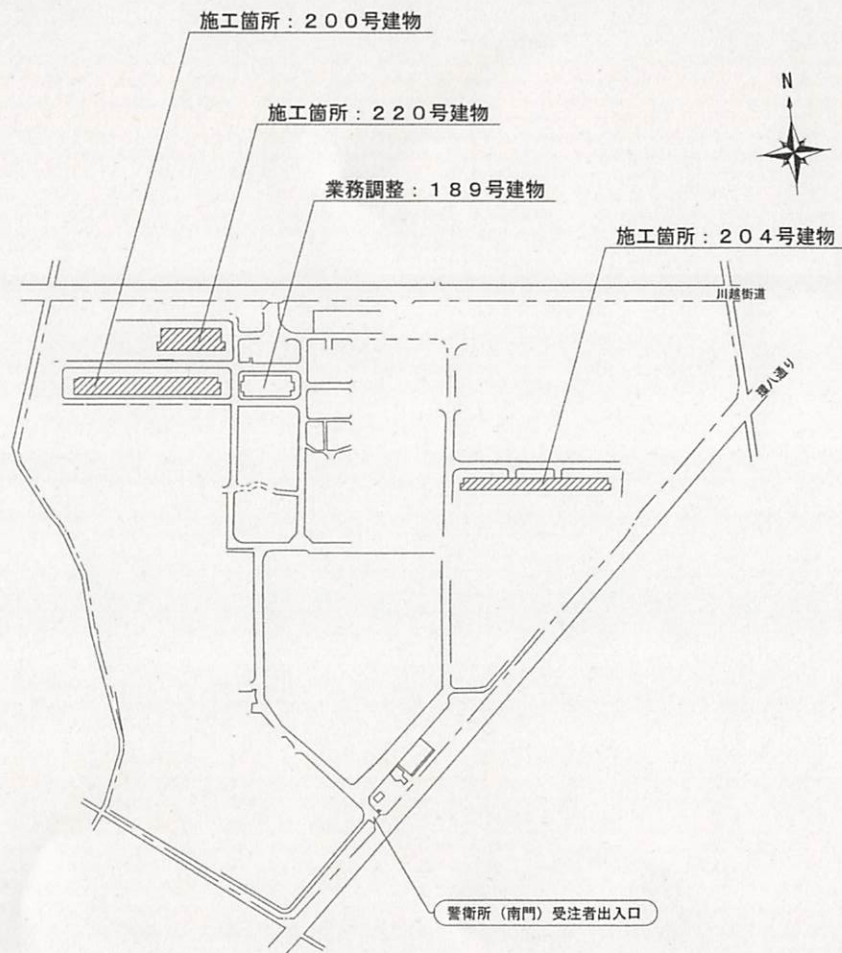
- 1 工事件名：200号建物他排水管等更新工事
- 2 工事場所：東京都練馬区北町4丁目1-1 陸上自衛隊練馬駐屯地内
- 3 工事概要：便所1箇所の汚水配管の更新ほか配管更新工事 一式
- 4 履行期限：令和4年12月23日（工事作業の完了期限は同年11月30日）
- 5 一般事項
 - (1) 本業務は、本仕様書によるほか、下記仕様書及び関係法規を準拠する。
 - ・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）
 - ・ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）
 - (2) 仕様書と業務内容に相違ある場合、仕様書に明記なき場合又は仕様書に疑いを生じた場合は、契約担当官・監督官と協議し、その指示に従い行うものとする。
 - (3) 現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関係法令を遵守して行うものとする。
 - (4) 工事に先立ち監督官と協議の上、実施工程表を作成し提出する。
 - (5) 図面・材料等の見本は、必要に応じ監督官に提出し、承認を得るものとする。
 - (6) 工事写真は、作業前・作業中・作業後・材料搬入時及び作業後において隠蔽部となる箇所を必ず撮影するほか、その他監督官の指示する箇所を撮影し、整理の上提出するものとする。
 - (7) 工事に必要な電気・水道等は受注者の負担とする。
 - (8) 現場で火気を使用する場合は、監督官に申告した後必要な手続きを行い、許可された後に使用する。（各種溶接作業を含む。）
 - (9) 施設に損傷を与えた場合は延滞なく監督官に報告すると共に、監督官の指示に基づき受注者の責任において原状に復旧する。
 - (10) 工事に関する提出書類・申請書等は、全て官側が示す規格・様式により作成し、速やかに監督官に提出する。
 - (11) 本工事は、工事完了後1年間を補償期間（瑕疵期間）とする。その間に発生した不具合については、受注者の責任において速やかに対処する。
 - (12) ビット内での作業時は、酸素計によるモニタリング及び送風機による換気を実施し安全を確保する。
- 6 特記事項（200号建物）
 - (1) 建築工事
 - ア 撤 去
 - ・ 床点検口の新設に伴い床スラブ、防水押えコンクリート及び仕上タイル各0.36㎡を撤去
 - ・ 床スラブ、防水押えコンクリートの撤去断面は床下方向にテーパを付ける。
 - イ タイル工事
 - ・ 新設床上に25角のユニットタイル（磁器質 無釉相当）を施工する。色等は見本の提示により事前に官側の承認を受けるものとする。

- ウ 金属工事
 - ・ 新設床点検口は600角で床タイル仕上げ用を1.0個とする。
- (2) 機械設備工事
 - ア 撤 去
 - ・ 排水管及び通気管等1.0式及を撤去（いずれも再使用しない）
 - ・ 撤去に先立ち、施工箇所に溜まっている汚水漏水1.0m³の汲み取り作業、ビット内洗浄作業及び洗浄水の汲み取り作業並びに汚水及び洗浄水の城外処分を実施する。
 - ・ 排水管の撤去は配管内部の高圧洗浄及び配管清掃機による清掃を実施後に施工する。
 - イ はつり工事
 - ・ 給水管用の貫通孔は機械はつりとする。
 - ウ 共通工事
 - ・ 新設排水管は排水用塩化ビニル管（VP）JIS K 6741とする。
ただし、1階男子便所ハイツシャワ内の排水立管については耐火2層管で国土交通大臣認定品とする。
 - ・ 新設通気管は排水用塩化ビニル管（VP）JIS K 6741とする。
 - ・ 1階男子便所ハイツシャワ内の新設排水立管に標準仕様書表2.3.5による種別d・(イ)・Ⅶにて施工
- 7 特記事項（204号建物）
 - (1) 機械設備工事
 - ア 撤 去
 - ・ 既設シャワーユニット用トラップ1.0個及び附属の排水管SGP50A1.5mを撤去する。
 - イ 衛生器具設備工事
 - ・ 既設シャワーユニット用トラップTOTO KN0184T7H 1.0個を新設する。
 - ・ 新設排水管は排水用塩化ビニル管（VP）JIS K 6741とする。
 - ・ 新設排水管の保温種別はd・(イ)・Ⅶとする。
- 8 特記事項（220号建物）
 - (1) 機械設備工事
 - ア 撤 去
 - ・ 既設蒸気還管SGP(65A)3.2mを撤去する。（保温は撤去済み）
 - イ 共通工事
 - ・ 新設部分はスリーブ形伸縮管継手（1.0MPaフランジ 伸縮200mm以上）とし、現場の収まりの必要から、配管を継ぎ足す場合、配管附属品1.0個の更新を含むものとし軽微な変更として扱い、設計変更の理由としない。
 - ・ 配管を継ぎ足す場合、材質はSTPG370-S-H（JIS G 3454）とし、既設配管との接続は溶接接続、伸縮管継手側はフランジ（JIS 10KF）とする。
 - ・ 蒸気還管において伸縮継手管との接続は、断面にフランジ（JIS 10K）を新設してフランジ接合とする。

工事件名	200号建物他排水管等更新工事	図面番号	2 / 11
種 別	仕様書	縮 尺	—
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊			

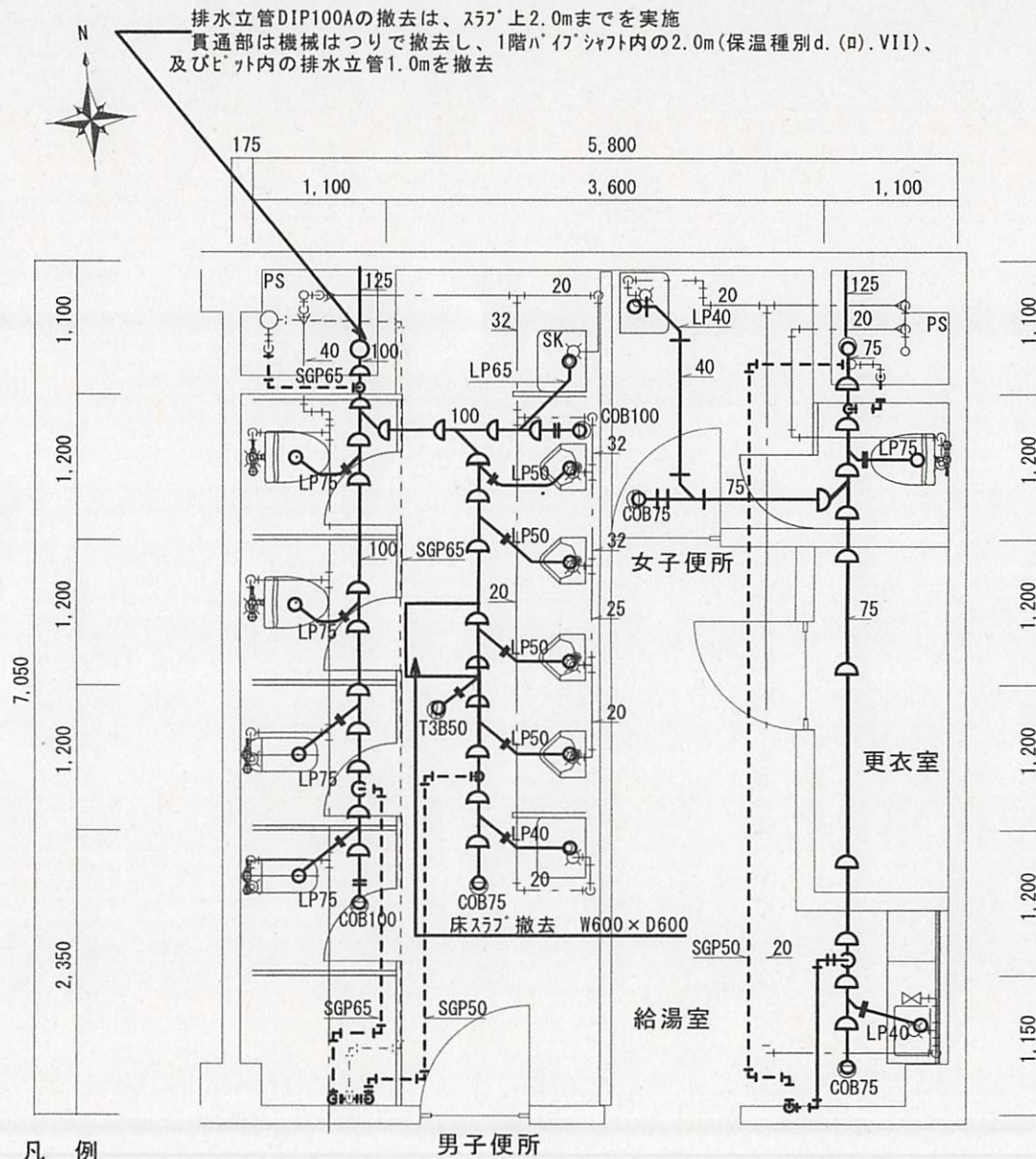


駐屯地案内図 S=1:Non



駐屯地配置図 S=1:Non

工事件名	200号建物他排水管等更新工事	図面番号	3 / 11
種 別	駐屯地案内図・配置図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊			



撤 去

* 撤去作業に先立ち、施工範囲に下記実施

- ・溜水(汚水) 1.0m³の汲取り処分及びビット内洗浄、洗浄水の汲取り処分
- ・排水配管内部の高圧洗浄及び配管清掃機による清掃

排水管(鉛管・すべてビット内)* 衛生器具との接続部を0.3m残す。

LP40A(洗面器)	1.0m×2.0箇所+1.2m×1.0箇所	3.2m
LP50A(小便器)	1.0m×4.0箇所	4.0m
LP50A(T3B50)	1.0m×1.0箇所	0.7m
LP65A(掃除流し)	1.0m×1.0箇所	1.0m
LP75A(大便器)	1.0m×5.0箇所	5.0m
LP75A(COB)	0.7m×1.0箇所+1.0m×2.0箇所	2.7m
LP100A(COB)	0.7m×1.0箇所+1.0m×1.0箇所	1.7m
		計4.7m
		計7.7m

排水管(鋳鉄管)

DIP40A(ビット内)	2.3m
DIP50A(ビット内)	2.5m
DIP65A(ビット内)	0.7m
DIP75A(ビット内)	14.5m
DIP100A(1階ハイツシャフト系)	3.0m*スラブ貫通部を含む。
DIP100A(ビット内)	8.0m
DIP125A(ビット内)	2.4m

通気管(配管用炭素鋼鋼管)

SGP50A	8.0m
SGP65A	6.3m

保 温(グラスウール保温筒・1階ハイツシャフト内)
種別d.(ロ).VII 100A 2.0m

配管切断

LP40A(手洗器・ビット内)	3.0箇所	→	鋼管類40A	3.0箇所
LP50A(小便器・ビット内)	4.0箇所	→	鋼管類50A	7.0箇所
SGP50A(通気管・ビット内)	3.0箇所	→	鋼管類65A	3.0箇所
LP65A(掃除流し・ビット内)	1.0箇所	→	鋼管類75A	8.0箇所
SGP65A(通気管・ビット内)	2.0箇所	→	鋼管類100A	3.0箇所
LP75A(大便器5.0+COB3.0箇所・ビット内)	8.0箇所	→		
LP100(COB・ビット内)	2.0箇所	→		
	1.0箇所	→		

貫通孔(1階ハイツシャフト内スラブ)

機械はつり100φコンクリート厚さ150mm程度 1.0箇所

床スラブ

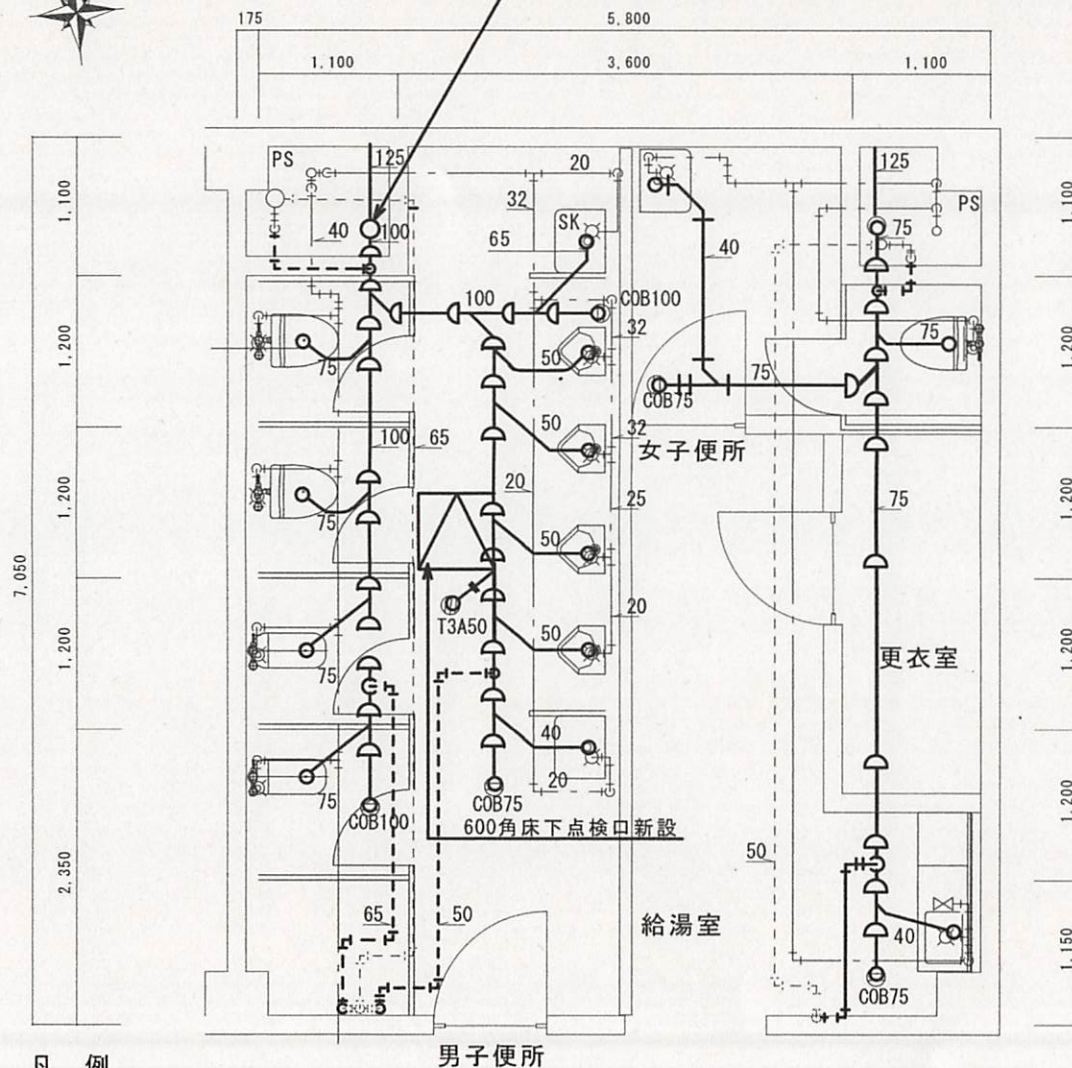
W600×D600×H270(押えコンクリート120+スラブ150) 1.0箇所

工 事 件 名	200号建物他排水管等更新工事	図 面 番 号	5 / 1 1
種 別	平面図	縮 尺	1:40

陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊



汚水立管DIP100Aの新設は、ヒート内1.0m及びスラブ上2.0mまでを実施
管種は耐火2層管100Aで更新し1階ハーフシャフト内の2.0mは保温を実施(保温種別d.(ハ).VII)



凡 例

- 新設排水管 (特記なき場合、管種VP)
- 新設通気管 (管種VP)

新 設

新設配管の接続先は撤去における配管切断箇所と同じ。

排水管及び通気管(すべてヒート内)

- VP40A 7.4m
- VP50A 35.3m
- VP65A 27.0m
- VP75A 15.9m
- VP100A 6.0m
- VP125A 2.4m

排水管(排水立管、1階ハーフシャフトスラブ貫通部からヒート内)

耐火2層管100A 3.0m

保 温(ロックール保温筒・1階ハーフシャフト内汚水立管)

種別d.(イ)・VII 100A 2.0m

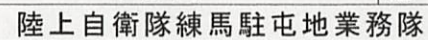
床点検口

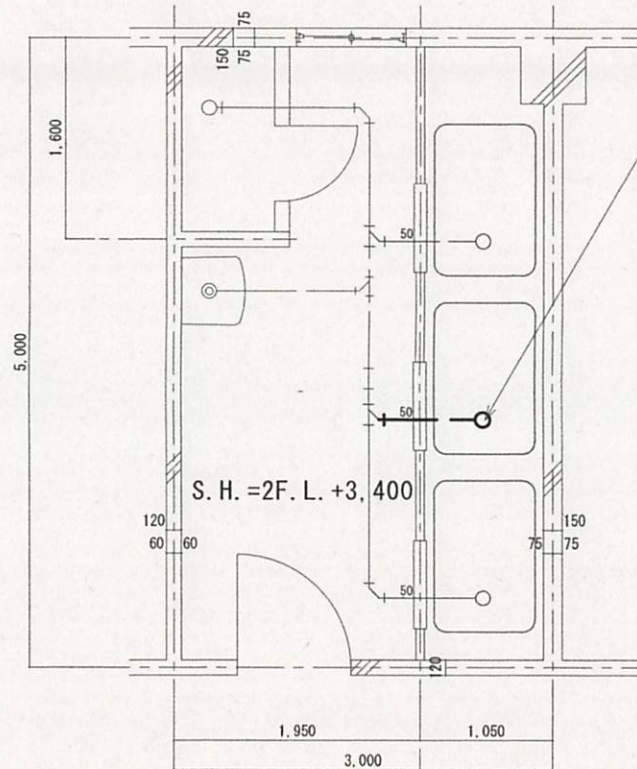
600角タイプ 床タイル仕上げ用 1.0箇所

床タイル

磁器質無釉25角 施工範囲W600mm×D600mm 1.0箇所
(新設点検口の箇所に施工)

工 事 件 名	200号建物他排水管等更新工事	図 面 番 号	6 / 1 1
種 別	平面図	縮 尺	1:40





シャワーユニット用スラブ貫通タイプ排水トラップ更新(階下点検口から実施)

撤去

既設シャワーユニット用トラップ 1.0個

附属排水管SGP50A 1.5m

配管切断(SGP50A)鋼管類50A 1.0箇所

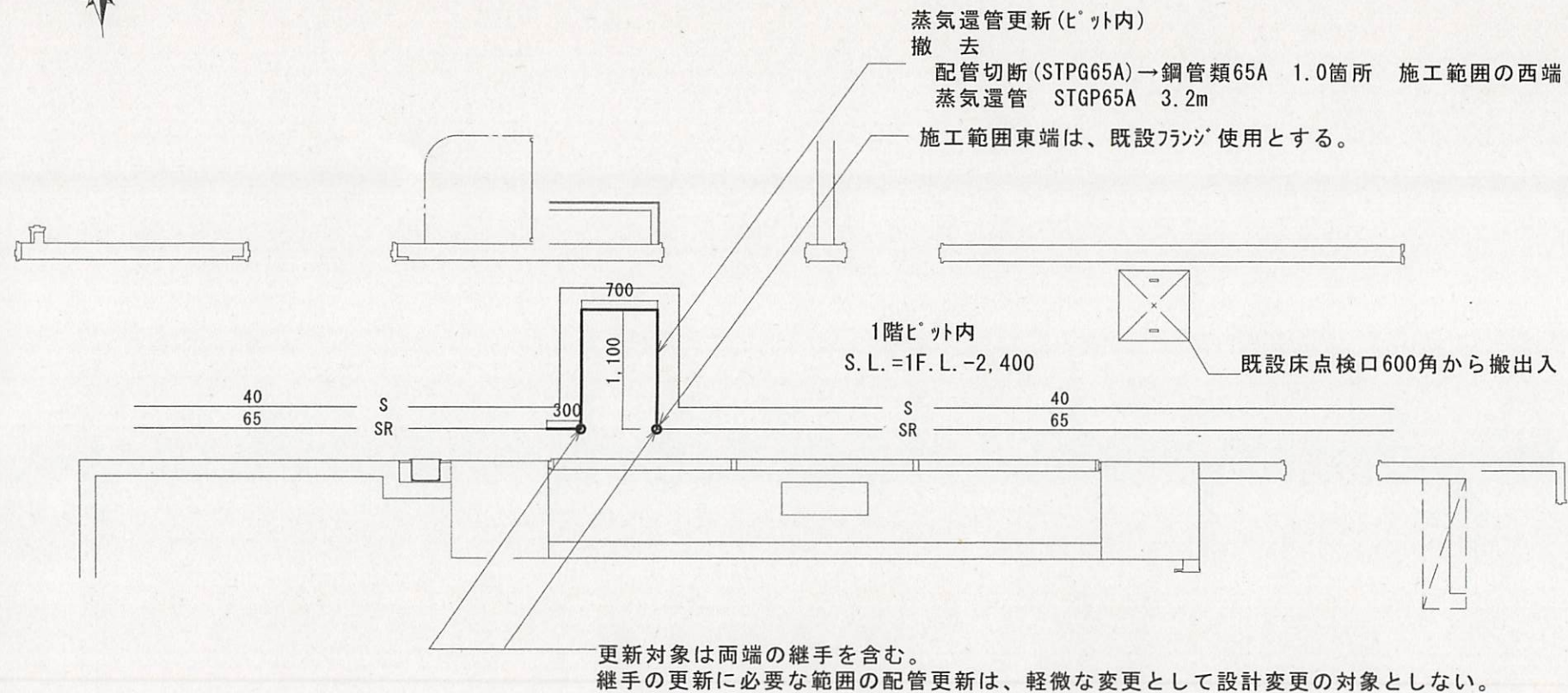
新設 既設排水管に接続

シャワーユニット用排水トラップ TOTO KN0184T7H 1.0個

附属排水管 VP50 1.5m

保温種別d・(イ)・VII 50A 1.5m

工事件名	200号建物他排水管等更新工事	図面番号	9 / 11
種別	平面図	縮尺	1:40
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊			



工事件名	200号建物他排水管等更新工事	図面番号	10/11
種 別	平面図	縮 尺	1:40
陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊			



蒸気還管更新(ビット内)

新 設 既設蒸気還管にフランジ接合で接続

スリーブ形伸縮管継手(フランジ) 1.0MPa 伸縮200mm以上 65A 又は同等品以上

配管高さSL+400 1階スラブから吊ボルトで3点を固定

施工範囲西端の既設管断面に、フランジ(JIS 10K)を溶接して新設する。

施工範囲東端は、既設フランジ使用とする。

1階ビット内

S.L.=1F.L.-2,400

既設床点検口600角から搬出入

既設管の切断面とは、防振継手に適合するフランジを溶接して接合する。

継手の更新に必要な範囲の配管更新は、軽微な変更として設計変更の対象としない。

40
65
S
SR

S
SR
40
65